

平成22年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市環境学習センター
所在地	四日市市本町9-8 本町プラザ4階
指定管理者	<p>名称 アクティオ株式会社</p> <p>代表者 代表取締役社長 植村敏明</p> <p>住所 東京都目黒区下目黒1-1-11 目黒東洋ビル4階</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、運営実績報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p style="text-align: center;">環境部 環境保全課</p> <p>TEL : 059-354-8188</p> <p>E-mail : kankyouhozen@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

22年度の特徴としては、COP10が隣の愛知県で開催され、当センターでも生物多様性関連事業を行った。また、出前講座が飛躍的に増加した。従来の小学校や地区市民センターに加え、学童保育所や保育園・幼稚園からも依頼があった。エコ工作では、竹を使った工作に加え、貝がらや木の実を使った工作が人気を集めた。

四日市公害事業としては、新たに教職員研修として公害学習講座を開催し、好評であった。また、環境活動団体と連携して「公害解説ボランティア養成講座」を開催し、人材養成を図った。

その他、エコまつりはセンターの前に新しく出来た新丁ひろば公園スペースを利用し、野外の会場を設け、充実した内容で開催することができた。

その結果、参加者数が順調に増え、協力や支援をしていただける市民団体・学校・企業もより増やすことができたことは高く評価できる。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

東日本大震災は、自然の脅威、原子力発電によるエネルギー問題など、さまざまな環境問題を改めて考える機会となった。今後とも、より一層講座内容を充実させて、環境教育を推進していただきたい。

また、引き続き、四日市公害の歴史についての写真展や語り部講座に力を入れていくようにしてほしい。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

四日市市環境学習センターの設置目的に則り、市民が人と環境の関わりについて理解と認識を深め、環境に配慮した行動がとれるように学習の振興を図り、良好な環境の創造に資するため環境学習の拠点施設として、より一層効果の高い環境教育の推進を実施しています。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

指定管理制度を導入以前に比べて、主催事業の数・内容も充実し、事業参加者も増加しています。また、平成22年度は、独自の取組みとして教職員向けの公害学習講座を開催したりしました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

管理責任者（常勤1名）を配置し、施設の管理運営に支障がない人員体制をとっています。職員の資質の向上を図るため、研修を実施し、施設の管理運営に必要な知識の習得に努めています。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用者数等の統計事務、執務日誌を作成しています。
毎月の運営実績報告書を作成・提出しています。
月に1回程度、市と連絡協議の会議を開催しています。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

緊急時対応マニュアルを整備してスタッフへの周知徹底を図っています。
犯罪を未然に防ぐため、「目配り」「気配り」「お声掛け」をスタッフ一人一人が実践しています。
地震や台風等の災害時に備え防災マニュアルを作成し、緊急連絡網の作成・定期的な防災体制の確認を行っています。

社会性（環境等への配慮）

四日市市環境マネジメントシステム（YES）に協力し、省エネルギー、省資源及び廃棄物の減量等の環境への負荷低減に努めています。
職員の健康管理についても、労働安全衛生法に規定されている労務管理や健康診断を実施しています。

事業収支

経済性

自主事業の増加に伴う経費の増大を、無駄削減の努力により賄っており、バランスのとれた事業収支となっています。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者の経営状況について、負債比率、固定比率、流動比率等の財務指標が悪化しています。いずれの指標も、当該企業が期中においてグループ内企業の株式を購入したことによるものであり、経営上影響はないものと考えます。また、期中の経営成績を示す損益計算書の当期純利益は前年に比べ増加しており、経営の健全化は担保され、企業の継続性に問題はないものと考えます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成22年度

施設名	四日市市環境学習センター		所管課:環境保全課
所在地	四日市市本町9-8 本町プラザ4階		設置年月:平成8年8月1日
設置目的	市民が人と環境との関わりについて理解と認識を深め、環境に配慮した行動がとれるように学習の振興を図り、本市の良好な環境の創造に資するために環境学習の拠点施設として、より一層効果の高い環境教育の推進を目的とします。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市環境学習センター条例(平成8年条例第11号)		
施設の概要	設備の概要	敷地面積(m ²)	683.06
		延床面積(m ²)	683.06
施設の概要	事業概要	4階占有部分 主要スペース ・環境学習室(定員72名) 92m ² ・図書コーナー、事務コーナー 99m ² ・環境情報コーナー 93m ² ・四日市公害資料室 90m ² ・環境実習室 69m ² 計443m ²	
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する知識の普及及び意識の啓発に関する事業 ・環境に関する研修事業 ・環境に関する情報の収集及び提供事業 ・市民、環境保全団体等の交流及び活動支援事業 ・環境学習に関する調査研究 ・その他環境学習の推進に関する事業 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	249日	249日	0日
開館時間	9:00~17:00	9:00~17:00	-

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	7,000人	8,240人	1,240人
平均利用率	平均	-	日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	18,853,648	18,853,648	0
材料費収入	300,000	138,750	△ 161,250
収入計	19,153,648	18,992,398	△ 161,250
人件費	11,168,400	11,506,372	337,972
管理費	1,366,025	1,330,715	△ 35,310
消耗品費	400,000	444,350	44,350
燃料費	13,000	10,719	△ 2,281
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
修繕料	19,000	0	△ 19,000
通信運搬費	303,000	244,621	△ 58,379
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	0	0	0
委託料	494,025	494,025	0
賃借料	137,000	137,000	0
その他	0	0	0
事業費(ソフト事業等)	4,355,000	3,836,060	△ 518,940
一般管理費	2,264,223	2,264,223	0
支出計	19,153,648	18,937,370	△ 216,278
収支	0	55,028	55,028

平成22年度 四日市市環境学習センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	適	検証・分析等	適否
開館日数	249日	249日	0日	計画外の閉館は無し。	適
開館時間	1,992時間	1,992時間	0時間	計画外の開館時間短縮は無し。	適
事業開催	64回	70回	+6回	事業を積極的に充実させた。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
事業参加者実績	7,000人	8,240人	+1,240人	事業参加者数が大幅に増加した昨年度と比較しても、さらに増加となった。今年度の特徴として、出前講座が飛躍的に増加したことが挙げられる。 また、COP10が愛知県で開催されるのにあたり、生物多様性関連事業を行った。新たな企画としては、環境団体の協力を得て、1つの川を下流・中流・上流と観察して生物多様性を知る「朝明りパーウォーク」や、未来に植物の回廊を作る「植樹」を行い、積極的に事業を充実させた。	適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	18,853,648	18,853,648	0	施設利用料については、徴収していない。材料等が必要な講座については、できる限り、不用品やリサイクルできるものを積極的に使うようにしているが、今年度は材料費として138,750円を参加者から徴収した。	適
自主事業収入	300,000	138,750	△ 161,250		適
収入計	19,153,648	18,992,398	△ 161,250		適
人件費	11,168,400	11,506,372	337,972	勤務体制は職員3人と計画どおりの配置となっていた。人件費の増については、事業数が見込みより増加していることが理由としてあげられる。	適
管理費	1,366,025	1,330,715	△ 35,310		適
消耗品費	400,000	444,350	44,350	消耗品費についても、事業数が見込みより増加していることにより若干増加している。	適
燃料費	13,000	10,719	△ 2,281		適
印刷製本費	0	0	0	通信運搬費は、郵送料等はなるべくまとめて送付するようにしたり、会議やイベント開催時に手渡しするなどして削減に努めた。	適
光熱水費	0	0	0		適
修繕料	19,000	0	△ 19,000	事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費削減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。	適
通信運搬費	303,000	244,621	△ 58,379		適
広告料	0	0	0	事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費削減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。	適
手数料	0	0	0		適
保険料	0	0	0	事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費削減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。	適
委託料	494,025	494,025	0		適
賃借料	137,000	137,000	0	事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費削減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。	適
その他	0	0	0		適
事業費(ソフト事業等)	4,355,000	3,836,060	△ 518,940	事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費削減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。	適
一般管理費	2,264,223	2,264,223	0		適
支出計	19,153,648	18,937,370	△ 216,278		適
収支	0	55,028	55,028		適

総合コメント:

事業参加者数、事業数ともに増加しており積極的な運営がされている。
現在は問題のない事業収支であり、事業数の増加により経費が増大しないように、無駄の削減により一層努めてほしい。また、職員ができることは自身で行なうようにしていることは評価できる。

平成22年度 四日市市環境学習センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
	利用実績	<p>事業参加者数が大幅に増加した昨年度と比較しても、さらに増加となった。今年度の特徴として、出前講座が飛躍的に増加したことが挙げられる。今年度はCOP10が愛知県で開催されるのにあたり、生物多様性関連事業を行った。講座としては、新たな企画として、環境団体の協力を得て、1つの川を下流・中流・上流と観察して生物多様性を知る「朝明リバーウォーク」や、未来に植物の回廊を作る「植樹」を行った。</p>	適
事業 収支	収入	<p>施設利用料については、徴収していない。材料等が必要な講座については、できる限り、不用品やリサイクルできるものを積極的に使うようにしているが、今年度は材料費として138,750円を参加者から徴収した。</p>	適
	支出	<p>勤務体制は職員3人と計画どおりの配置となっていた。人件費の増については、事業数が見込みより増加していることが理由としてあげられる。消耗品費についても、事業数が見込みより増加していることにより若干増加している。 通信運搬費は、郵送料等はなるべくまとめて送付するようにしたり、会議やイベント開催時に手渡しするなどして削減に努めた。 事業については、職員でできることは自身で行い、また、ボランティア関係者の協力により、事業数が増えているにもかかわらず、経費節減を図って、事業開催経費を少なく抑えて実施できた。</p>	適

平成22年度 四日市市環境学習センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	内容	検証・分析等	適否	
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	H22年度は変更なし。	契約書・仕様書通り	適	
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	-	-	-	-	
	報告書等の提出		各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	毎月に報告あり	契約書・仕様書通り	適
			自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	毎月に報告あり	契約書・仕様書通り	適
			収支予算書・決算書は提出されたか	実地確認	予算執行状況を毎月確認	契約書・仕様書通り	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	指定管理者面談（毎月）	所属長、担当で対応	十分に情報提供されている。	適	
	各種管理記録等の整備保管		各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適
			業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適
			整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適
			付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	-	-	-	-
	非常時・緊急時の対応		緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適
			緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	-	-	-	-
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	-	-	-	
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	-	-	-	
設備保守管理	点検・保守	機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	-	-	-	-	
		点検・保守は確実に実行されているか	-	-	-	-	
備品・什器等保守管理	点検・保守	法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	-	-	-	
		機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	実施確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適	
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適	
		点検・保守は確実に実行されているか	-	-	-	-	
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	-	-	-	-	
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	-	-	-	-	
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	-	-	-	-	
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	-	-	-	-	
植物育成管理業務	樹木管理	マニュアルは作成されているか	-	-	-	-	
		剪定時期等は適切か	-	-	-	-	
施設利用案内	行事開催案内	花壇管理	四季の植栽は適切か	-	-	-	
		パンフレット類は整備されているか	実地確認	毎月に確認	契約書・仕様書通り	適	
管理システム受付業務	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	実地確認	週1回確認	契約書・仕様書通り	適	
		機器管理	研修を実施しているか	-	-	-	-
		システム管理	更新・変更は常になされているか	-	-	-	-
		トラブルに対応したか	-	-	-	-	

総合コメント：
 報告書、計画書、日誌、マニュアル等は、適正に作成、提出されている。
 行事案内等の情報が週1回以上は更新されている。

平成22年度 四日市市環境学習センター 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
<p>別紙:「平成22年度各種講座に関する事業実施実績について」のとおり 適正に実施されている</p>				<p>適</p>

総合コメント：
 事業の数や内容も充実してきている。参加しやすい事業内容についてセンター内でも議論されており、事業参加者数の増加につながっている。今後、事業参加者の意見を聞きながら、より良い事業にしていってほしい。四日市公害の歴史についての写真展や講座には引き続き力を入れていくこと。

平成22年度各種講座に関する事業実施実績について

1. 自主事業

(1) 環境リーダー養成講座（指定事業1）

運営を四日市大学エネルギー環境教育研究会へ委託しました。

従来は連続受講のみの募集でしたが、利用者のニーズを反映し、単元別に受講できるようにして関心のある講座を受講しやすくしました。講座内容にあわせ、センターに限らず会場を変更するなど工夫し、野外体験学習をとり入れるなど内容の充実を図りました。

また、スキルアップ編を応用編修了後の時期に設け、今年の修了生が続けて受講できるようにして受講者の確保に努めました。

	受講生	修了生
基礎編	29	16
応用編	41	14
教員編	33	
スキルアップ編	44	18

①基礎編

5/8(土)	地球温暖化・エネルギー問題とは 暮らしと省エネルギー 食とフードマイレージ	26
6/5(土)	四日市の自然 インタープリテーション	25
7/3(土)	水の生態系と温暖化 土壌の環境浄化作用	25

②応用編

9/4(土)	四日市のごみ施策 ごみと3R～先進事例を訪ねて～	20
10/9(土)	四日市公害史 車社会と大気汚染 エコトレーニング KJ法～低炭素社会をつくろう～	27
11/6(土)	バス視察研修 モクモク手作りファーム、伊賀菜の花プロジェクト	26
12/4(土)	エコ工作を通じた環境教育 環境活動事例報告	18

③教員編

7/29(木)	実践環境教育～エネルギー環境教育～ 太陽電池をはじめとする新エネルギーについて	12
8/5(木)	視察研修 アクアワールド水郷パークセンター、輪之内町エコドーム	25

④スキルアップ編

12/11(土)	バス視察研修 中部リサイクル、アビズ、藤前干潟	34
1/8(土)	国におけるエネルギー施策について 四日市市環境計画策定について 環境クイズを楽しもう～地球環境から身近な問題～	31
2/5(土)	プログラム作成～企画、実践方法を考えよう プログラム作成～シュミレーション	20

(2) 自然観察会（指定事業2）

COP10関連事業

身近な自然に対する関心を深め、自然に親しむことを目的に、市民を対象にして年10回実施しました。運営は、四日市自然保護推進委員会へ委託しました。

参加者は、363名でした。

4/18 (日)	春の四郷丘陵の樹木や生きもの	24
5/9 (日)	初夏の里山と周辺の草木や生き物	41
6/13 (日)	初夏の河口・砂浜の草木や生き物	33
7/11 (日)	川の生きものと河岸のつる草や葉	78
8/28 (日)	秋の虫の声と星空	38
9/12 (日)	秋の御池沼沢植物群落の花や虫	17
10/17 (日)	秋の公園林の木の实、草の種	36
11/7 (日)	秋の里山周辺の草木や生き物	17
1/9 (日)	水辺の鳥たち	39
2/13 (日)	早春の草花や生き物	40

(3) 身近な自然調べ (指定事業3)

COP10パートナーシップ事業登録事業

小学生が身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに自然への関心を深めてもらうため、年10回開催しました。

前年度の実績を踏まえ、講座内容を見直し、低学年向けの「自然ふれあいコース」と高学年向けの「いきものミステリーコース」を設け、ターゲットを明確にし、秋以降の講座の参加者を確保することができ、参加者数は、前年比1.4倍の418名でした。

①しぜんふれあいコース

4/11 (日)	山菜クッキング	67
5/18 (土)	干潟の生き物ウォッチング	32
7/17 (土)	川の生きもの調査隊	33
7/24 (土)	葉っぱ大研究	48
8/7 (土)	夜の昆虫王国	46
2/12 (土)	冬の森探検	39

②いきものミステリーコース

10/16 (土)	外来種ってなあに?	34
11/13 (土)	さとやま発見!	31
12/4 (土)	この実・何の実?	36
1/29 (土)	ホネから学ぶ生きものミステリー	47

(4) こどもエコゼミ (企画事業1)

夏休みの環境学習支援として、小学生向け3講座、中学生向け2講座を開催しました。

7/30 (金)	四日市公害	61
7/31 (土)	地球温暖化	34
8/12 (木)	電子工作	22
8/20 (金)	植物スケッチ	16
8/21 (土)	サイエンス広場	44
12/18 (土)	クリスマスエコパーティー	35

(5) エコまつり (企画事業2)

企業、団体および行政などが協働・連携し、ワークショップを中心に、市民が身近にあるものから環境について楽しみながら体感できる学習の機会として年1回開催しました。

新丁ひろばを第2会場として開催し、ソーラーラジコンなど屋外ならではの体験を取り入れました。

11/28 (土)	エコまつり	420
-----------	-------	-----

(6) エコ工作 (企画事業3)

夏休みの工作は、応募が多かったので、午前の部、午後の部と2講座開催しました。

6/19 (土)	和のエコバッグ作り	32
----------	-----------	----

8/20 (金)	ビーチクラフト講座	85
12/25 (土)	お正月飾り	33
1/20 (木)	布ぞうり	32

(7) 環境セミナー (企画事業 4)

市民を対象に3回開催しました。

4/24 (土)	水生指導員スキルUP講座	17
5/22 (土)	保々地区ホタル観察会	32
5/30 (日)	ビーチコーミング講座	15

(8) ecoコロンプス号 (企画変更 1)

第1回はCOP10パートナーシップ事業

市民の環境学習意欲や環境保全意識を高めることを目的に、年3回実施しました。

7/10 (土)	生物多様性いきものみっけバスツアー	45
8/6 (金)	リサイクル工場見学	46
10/21 (木)	大人の環境学習バスツアー	42

(9) 朝明リバーウォーク (独自新規事業 1)

COP10パートナーシップ事業登録事業

四日市大学自然環境教育研究会と連携し、COP10関連事業として新規に開催しました。朝明川の河口から上流までを観察しながら生物多様性を学ぶ講座を3回シリーズで行いました。

4/29 (祝)	火力発電所見学と干潟の観察	59
9/11 (土)	川から海や山を学ぼう	41
11/14 (日)	うきうきデイキャンプ	46

(10) 四日市公害に関する環境学習事業 (独自新規事業 2)

夏季休業期間における写真展に加え、新たに教職員研修として公害学習講座を開催しました。また、四日市再生「公害市民塾」と連携して、「公害解説ボランティア養成講座」を開催し、人材養成を図りました。

6/12 (土)	公害解説ボランティア養成講座	20
7/22 (木)	教職員研修 四日市公害学習	73
1/6 (木)	教職員研修 四日市公害学習	22
7/17~8/31	四日市公害写真展	—

(11) 企業等連携事業 (独自新規事業 3)

東邦ガスの協力を得て開催しました。

6/26 (木)	エコ・クッキング1 (全3回)	25
2/5 (土)	エコ・クッキング2 (全3回)	21
2/19 (土)	エコ・クッキング3 (全3回)	21
9/30 (土)	エコライフバスツアー1 (全2回)	30
3/29 (火)	エコライフバスツアー2 (全2回)	46

(12) パネル展 (独自新規事業 4)

COP10関連事業

よっかいち緑の会の協力を得て開催しました。

4/10~5/15	御池沼沢植物群落パネル展1	—
8/21~9/2	御池沼沢植物群落パネル展2	394
9/7~9/22	御池沼沢植物群落パネル展2	—

(13) 出展事業 (独自新規事業 5)

広く市民にセンターを知っていただくため、出展事業を行いました。竹工作や貝がら工作などを行い、2,837名の方が参加されました。

4/3. 4(土日)	エキサイトバザール出展	650
5/1. 2(土日)	三重県環境学習情報センター 「春のエコフェア」出展	350
5/16(日)	子どもまつり出展	700
7/18(日)	三重県環境学習情報センター 「エコフェア」出展	600
7/25(日)	東産業水環境フェア出展	400
10/17(日)	秋の交流フェスティバル出展	137

2. 環境学習支援事業について

(1) 出前講座 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、水生生物調査を実施しました。

市内の小学校4年生を対象に案内を送付し、講座依頼が昨年度の4か所から倍増し8か所で行いました。

5月18日	八郷小学校4年生	99
5月22日	塩浜地区市民センター	44
6月8日	中部西小学校4年生	74
6月25日	川島小学校4年生	153
7月25日	川島地区市民センター	30
8月7日	内部地区市民センター	65
9月14日	桜小学校4年生	98
9月21日	三重小学校4年生	87

(2) 出前講座 エコ工作

各地区からの要請を受けて、夏休みの工作を中心に、竹工作などの指導を行いました。エコピースの紹介を見て多数の依頼があり、昨年度の3倍となりました。依頼元も地区市民センターだけでなく学童保育所や社会福祉協議会など多岐に渡りました。

5/23	ときわ地区 うちわ	20
5/29	楠北保育園	122
6/10	ときわ地区 布ぞうり	15
7/8	海蔵保育園	80
7/21	ビーチクラフト講座	44
7/21	水沢地区 COD	13
7/23	羽津地区 竹小物入れ	31
7/27	水沢地区 おきあがりこぼし	20
7/27	八郷地区 顕微鏡	20
7/30	小山田地区 ビーチフレーム	27
8/4	河原田地区 竹風鈴	21
8/4	八郷地区 ビーチフレーム	30
8/5	ときわ地区 バンド工作	5
8/10	羽津地区 竹風鈴	27
8/18	四郷地区 竹風鈴	51
8/19	赤堀地区 ビーチフレーム	25
8/21	中部地区 竹風鈴	16
8/24	前田町 布ぞうり	29
8/26	八郷学童保育所 ビーチフレーム	30
9/9	ときわ地区 ミニストラップ	11
10/13	海蔵幼稚園	110
10/23	日永地区 和のエコバッグ	33
11/12	楠地区 紙すき	12

12/19	桜地区 ミニ門松	28
12/22	小山田地区 クリスマスリース	22
12/24	日永地区 ミニ門松	25
3/30	常磐学童保育所 紙すき	35

(3) 四日市公害等環境学習支援

小・中学校・大学や各地区からの要請を受けて、環境に関する学習や公害学習を行いました。また、四日市教育委員会からの依頼により、小中学生向けの四日市公害学習指導用教材として、パワーポイントで作成した資料を提供し、教育指導課より市内全小中学校にCDが配布されました。

5/25	中部西小 公害学習	90
6/15	三重看護大 公害学習	13
7/1	福井県かつやま中学校 公害学習	11
8/3	中学生サミット	25
8/10	日本大学 公害学習	22
8/17	神奈川県高校社会科教論公害学習	19
9/13	JACA環境学習	23
10/12	城山小 公害学習	42
10/29	友生小 公害学習	100
11/11	内部小 公害学習	108
11/12	ときわ西小 公害学習	106
12/7	保々小 公害学習	94
3/3	JICE	23
3/8	アイセット	18
3/15	四郷小学校 公害学習	78

3. こどもエコクラブ支援事業

市内の20クラブのメンバー14,905人、サポーター110人の方にご登録いただきました。四日市事務局として、登録事務や、全国事務局からの配布物の送付作業などを行いました。活動報告として、2団体から壁新聞が提出されました。

また、COP10応援事業おりがみプロジェクト参画し、エコまつりや環境フォーラムなどで、いきもの折り紙コーナーを設け多数の子どもたちに参加してもらいました。おりがみを貼ったポスターの一部をこどもエコクラブ全国事務局に送付しました。

4. 情報提供事業に関して

環境活動の活性化を図るための情報拠点として、ホームページの運用や情報発信を行いました。

(1) ホームページの開設・更新

ホームページアドレス：<http://www.eco-yokkaichi.com>を開設し、ブログ「えこぼん」でこまめにイベント情報や報告を行っています。

(2) 環境情報誌の発行

- ・年1回、環境情報誌「えこピース」を2500部発行しました。
- ・イベント案内を中心とした「えこっばニュース」を月1回発行し、来館者などに配布を行っています。また、各地区市民センターなど30か所に配架しています。

(3) 「広報よっかいち」での参加者募集掲載、CTYの「ニュースエリア便」「ちゃんねるよっかいち」等の出演、エフエムよっかいちでの告知、記者発表を行い新聞社等のマスコミへのアプローチを行いました。

5. 館内運営・整備事業について

(1) 伊勢湾の環境に関心を持っていただくため、パネル展を開催しました。また、海ゴミ標本の常設展示コーナーを設けました。

- ・伊勢湾総合対策協議会の伊勢湾再生パネル展を開催しました。
- ・ウミガメはっけん！パネルを作成し、三重大学ウミガメ・スナメリ調査・保全サークル「かめ

っぷり」の協力でパネル展を開催しました。

(2) 図書・ビデオの貸し出し業務を充実させるため、図書80冊、映像資料4本を追加しました。

(3) 来館者に楽しんでいただけるようにお楽しみコーナーを企画しました。

- ・夏休み企画「チリメンモンスターを探せ！」
- ・COP10企画「いきもの折り紙」
- ・ハロウィン企画「おばけかぼちゃ重さ当てクイズ」
- ・新春企画「自然で福笑い」

(4) CO2ダイエット作戦としてみどりのカーテンの推進を図るため、桜台連合自治会の協力により来館者にゴーヤ苗の無料配布を行いました。

6. 四日市公害資料室の管理運営に関して

(1) 公害資料室のパンフレットを2,000部作成しました。

(2) 来館者、視察者の求めにより、資料室の説明を行いました。

(3) 四日市再生「公害市民塾」の協力を得て、写真展を行いました。

平成22年度 四日市市環境学習センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	指定管理者 面談	毎月1回打合せ会を開催している	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認	特別なことがあれば記録し、保管している	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-	
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認	年1回備品の確認を実施し、異常があれば対応している	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	不具合が発生しだい報告を行っている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告するよう連絡体制をとっている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-

総合コメント：
 備品等は、全て良好に維持管理されている。
 年1回は、備品リストと実際の備品状況を現地で確認を行っており、現地確認でも問題はない。
 毎月1回の面談の中でも、備品について随時報告があり、適正に管理されている。

平成22年度 四日市市環境学習センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	-	-	-
		許可証は速やかに発行されたか	-	-	-
	施設利用案 内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市の広報やホームページに適切な時期に掲載している	適
		ホームページは見易いか	実地確認	写真やイラストを積極的に活用している。ブログも活用している	適
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	実地確認	エレベーターを降りるとすぐ入口からの挨拶がある	適
		利用者に対する指導は適切であったか	実地確認	利用者の立場にたってやさしく指導している	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地確認	朝礼時に名札を確認している	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	書面確認	アンケートを実施し、次に活かしている	適	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	-	-	-
		全体的（駐車場を含む）に、見た目清潔に保たれているか	-	-	-
	警備業務	避難経路には障害物がないか	-	-	-
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	-	-	-
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	-	-	-
		草刈りや除草はされているか	-	-	-
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	-	-	-
廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地確認	分類種別ごとにゴミ箱を設置	適	
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	整理整頓されている	適	

総合コメント：

行事開催案内は、こまめに更新されている。受付・応対については、挨拶が徹底されており、接客態度はよい。開催事業は、わかりやすく誰もが参加しやすい内容のものである。センター内も明るい雰囲気、イラストや写真を配置し、わかりやすく配慮されている。
サービスの質は良好である。